

# ZOOM UP

県内企業動向調査  
2013年10-12月期の実績見込みと  
14年1-3月期の見通し

## 景況感は、 製造業を中心に 大幅に改善

Text by しがぎん経済文化センター 上村 彰吾

今回の調査によると、現在(13年10-12月期)の業況判断DIは前回(13年7-9月期)の-11から大幅な改善となる12ポイント上昇の+1で、4四半期連続の上昇となった。02年2月から73か月間続いた戦後最大の景気拡大期の最中にあった06年10-12月期以来、7年ぶりにプラスに転じた。公共工事の増加や、消費税率の引き上げを見越した駆け込み需要の発生などにより売り上げが増加し、特に製造業を中心に、全業種で景況感は大幅に改善したとみられる。

### 調査の概要

- 調査名:「県内企業動向調査」 ●調査時期:2013年11月13日~11月27日
- 調査対象先:994社
- 有効回答数:451社(有効回答率45%)  
うち製造業: 203社(有効回答数の構成比 45%)  
うち建設業: 74社(有効回答数の構成比 16%)  
うち非製造業:174社(有効回答数の構成比 39%)

### 自社の業況判断DI… 全体で7年ぶりのプラス

#### ①全体の動向(図1)

現在(13年10-12月期)の業況判断DIは前回(13年7-9月期)の-11から大幅な改善となる12ポイント上昇の+1で、4四半期連続の上昇となり、7年ぶりにプラスに転じた。公共工事の増加や、消費税率の引き上げを見越した駆け込み需要の発生などにより売上が増加し、経常利益も大幅に上昇したことから、特に製造業を中心に、全業種で景況感は大幅に改善したとみられる。

3か月後は、2ポイント上昇の+3と、引き続き上昇する見通しである。

#### ②業種別の動向

業種別でみると、**製造業**は+16ポイント(-18→-2)、**建設業**は+8ポイント(+15→+23)、**非製造業**は+9ポイント(-13→-4)と、全業種で前回より大幅に上昇した。

**製造業**では**輸送用機械**など全15業種のうち11業種で上昇したが、**化学**など3業種で下落した。**非製造業**では**卸売、運輸・通信**など全8業種のうち5業種で上昇したが、すでに駆け込み需要のピークを越えたという意見のあった**不動産**など2業種で下落した。

3か月後は、**製造業**では引き続き消費増税前の駆け込み需要が見込まれる一方で、原材料費や光熱費の高騰による仕入

価格の上昇も懸念されてか、-1ポイントの-3となった。**建設業**は1ポイント上昇の+24、**非製造業**も6ポイント上昇の+2とプラスに転じる見通しである。

### 経常利益DI… 大幅に上昇し、プラスに転じる

#### ①全体の動向(図2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合を引いた値)は、前回(7-9月期)の-13から+14ポイントの+1と、6年半ぶりにプラスに転じた。消費増税前の駆け込み需要などで売上が増加し、販売価格も上昇したことに加え、仕入価格も高い水準ではあるものの下落に転じたことが、経常利益の改善につながったものとみられる。

3か月後は-2ポイント(+1→-1)となり、再び下落に転じる見通しである。

#### ②業種別の動向

業種別にみると、**製造業**は+18ポイント(-19→-1)、**建設業**は+14ポイント(+3→+17)、**非製造業**も+8ポイント(-11→-3)と全業種で大幅に上昇した。

**製造業**では、**金属製品、電気機械、窯業・土石**など11業種で上昇したが、**一般機械、精密機械**など4業種で下落した。**非製造業**では**卸売、運輸・通信**など4業種で上昇したが、**不動産、小売**など3業種で下落した。

3か月後は、**建設業**は-6ポイント(+17→+11)の下落となるも引き続きプラスを

維持、**非製造業**は+4ポイント(-3→+1)の上昇でプラスに転じるが、**製造業**は-6ポイント(-1→-7)の下落となり、再びマイナスとなる見通しである。

### 仕入価格DI… 4四半期ぶりに下落に転じるも、 依然高い水準

#### ①全体の動向(図3)

仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合を引いた値)は+34で、前回(7-9月期)の+36から-2ポイントと、4四半期ぶりに下落に転じたものの、引き続き高い水準となった。円安による原材料費や燃料費の高騰、電気料金の値上げの影響が依然続いているものとみられる。

3か月後は+1ポイント(+34→+35)で再び上昇に転じる見通しである。

#### ②業種別の動向

業種別にみると、**建設業**では+5ポイント(+35→+40)の上昇となったが、**製造業**で-3ポイント(+37→+34)、**非製造業**で-2ポイント(+35→+33)と、それぞれ下落に転じた。

**製造業**では**金属製品、窯業・土石、食料品**など7業種で上昇したが、**一般機械、電気機械、繊維**など6業種で下落した。**非製造業**では**小売、電気・ガス、その他の非製造業**の3業種で上昇したが、**不動産、卸売、運輸・通信**など4業種で下落した。

3か月後は、**建設業**は+5ポイント(+40→+45)とさらに上昇、**製造業**(+34→+34)、**非製造業**(+33→+33)も横ばいで、依然高い水準が続く見通しである。

### 販売価格DI… 上昇に転じるも、 依然マイナス水準

#### ①全体の動向(図4)

販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合を引いた値)は-3で、前回(7-9月期)の-8から+5ポイントと、2四半期ぶりに上昇に転じたものの、依然マイナス水準にとどまっている。仕入価格が上昇する一方で、価格競争の激化により販売価格の引き上げは引き続き難しい状況にあるとみられる。

3か月後は+2ポイント(-3→-1)となり、引き続き上昇する見通しである。

#### ②業種別の動向

業種別にみると、**製造業**で+6ポイント(-12→-6)、**建設業**で+5ポイント(-8→-3)、**非製造業**でも+3ポイント(-3→0)と全業種で上昇した。**製造業**では、**繊維、木材・木製品、食料品**など9業種で上昇したが、**一般機械、化学、紙・パルプ**で下落した。

3か月後は、**製造業**は-2ポイント(-6→-8)と下落に転じるが、**建設業**は+4ポイント(-3→+1)、**非製造業**は+6ポイント(0→+6)と、引き続き上昇する見通しである。

図1 自社の業況判断DIの推移

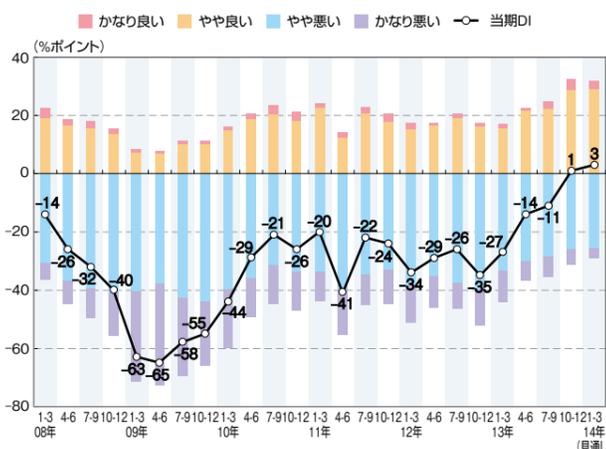


図2 経常利益DIの推移

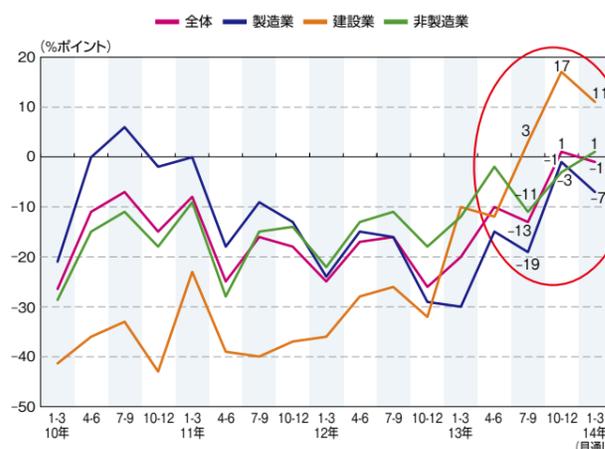


図3 仕入価格DIの推移

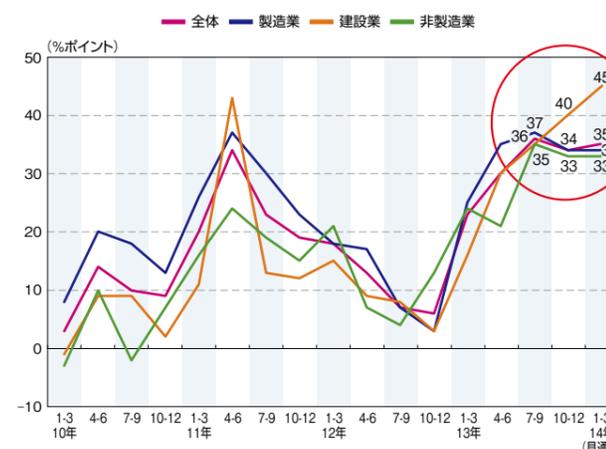


図4 販売価格DIの推移

